

2024 年度ゼミ (演習 3A/演習 3B) 要覧

担当者名	平山恵
演習テーマ	たのしい考程から論文作成へ
内容 と 卒業論文の 指導方針	これまでは与えられたテーマでレポートを書くことが多かったであろう。卒論作成は、自身が一番興味をもっているテーマを探求できる学問の自由度が高い貴重な時間である。まずは、関心領域の文献をたくさん読み、問いを立てて考えよう。それから大学生活で一番楽しい創造の時間となるはずである。卒論が学生時代の宝の一つとなることを期待する。
メール・アドレス	megumix@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	Email で予約して下さい。
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 過去の卒論を読み、構成を分析する。 2. 先行研究、社会調査のデザイン案の発表 3. 卒論構成作成 4. 卒論執筆
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な問いと仮説をたてることができる。 ・卒論を完成する。
授業計画	<p>春学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行研究 ・オリジナル調査や実験をする人は予備調査・実験を行い計画を改定 ・構成の仮確定 <p>秋学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に行った先行研究や調査のまとめ ・卒論構成の確定 ・卒論執筆のシェアリング、ゼミ生どうしでの確認
予習	各段階での課題を発表できるように準備する。
復習	演習の中でコメントを受けた部分を修正する。
授業に関する 注意事項	他のゼミ生への教員やゼミ生のコメントを聞き逃さないこと。自分自身の卒論に役立つ。
教科書	桑田てるみ著『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』実教出版
参考書	ゼミ生の卒論の内容によって違うので、ゼミ内で紹介する。
成績評価の 基準	毎回の課題の提出 60%、他のゼミ生へのコメント 40%
関連 URL	特になし。
備考	特に卒論では時間を自分でコントロールすることが重要である。就活やアルバイトの時間等を調整、卒論作成に使える時間を確保すること。